

陸上自衛隊とイギリスの陸軍が日本国内で最初の軍事演習を9月から10月にかけて行うというニュースです。5月のメール情報第9号でも取り上げましたが、英国の軍艦が北朝鮮の密輸を防ぐ為に任務に就いているという話でした。引き続き日本近海に踏みとどまり国連監視団の一員として活動している。今度は陸軍同士の訓練であり、100人程度と小規模だが、着々と連携を深めている。

イギリスと日本は騎士道と武士道が相見合い、日本は世界で一番長い歴史と皇室をもち、英国は2番目に長い歴史と王室をもつ。共にユーラシア大陸の東の端と西の端に位置し、島国であり、両者共に決して大きな国ではない。日本がロシアと戦ったのは、114年も前だが、日本は英国と同盟を結び、当時の超大国ロシアに向かって戦争を仕掛けた。戦費の調達に助けられただけではなく、英国が後ろについているだけで日本は大きな勇気をもらい、その戦争に勝てた。反対に英国が米国と結び戦った第二次世界大戦では見事に負け戦となった。英国を味方にする日本は強い。いつ何時起きるかわからない戦争に対処するには、一国でも多い味方作りが重要である。英国とは、経済面でも急接近しており、昔の馴染みが寄りを戻そうとしている。

「日本会議メール情報」 平成30年7月17日(火) 通巻第1700号

【防衛】陸自と英軍、国内で初の共同訓練を今秋実施

日本会議事務総局 担当 村主真人

「共同通信」は13日、陸上自衛隊と英陸軍初の共同訓練が、今秋、静岡県陸自富士学校、山梨県の北富士演習場、宮城県の王城寺原演習場の3カ所で実施することで調整が進められていると伝えました。

日本と英国は、昨年12月の外務・防衛閣僚会合(日英2+2)において、日英の海陸の軍種において共同訓練を実施することを表明していました。

「共同通信」の取材によると、訓練は、9~10月間の2週間程度実施され、日英からおおよそ100人が参加する予定です。

メール情報1700号の本文はこれまで。

これより添付の共同通信記事 自と英軍、今秋初訓練 静岡、山梨、宮城を検討 2018/7/13

陸上自衛隊と英陸軍が初めて行う共同訓練について、防衛省が今秋、静岡県陸自富士学校、山梨県の北富士演習場、宮城県の王城寺原演習場の3カ所で実施する方針であることが13日、同省への取材で分かった。9~10月の2週間程度で、日英の約100人が参加予定。指揮所演習や偵察・監視などを検討している。訓練は日英両政府が昨年の外務・防衛閣僚協議(2プラス2)で確認した、安全保障面での連携強化の一環。堀地徹南関東防衛局長は同日、山梨県富士吉田市役所を訪れた後、記者団に「日英関係を深めていくことが重要だ。地元で理解をいただけるよう誠心誠意説明したい」と述べた。

第3回日英外務・防衛閣僚会合の要旨(日英2+2) 平成29年12月14日 外務省・防衛省

12月14日、英国を訪問中の河野外務大臣及び小野寺防衛大臣は、英国のジョンソン外務・英連邦大臣及びウィリアムソン国防大臣との間で第3回日英外務・防衛閣僚会合(「2+2」)を実施した。概要以下のとおりです。会合は、合計約2時間にわたり行われ、共同声明が発出されました。

(1) 四大臣は、日本と英国はアジアと欧州で最も緊密な安全保障上のパートナーであり、本年8月のメイ首相の訪日に際し、両国のグローバルな安全保障上のパートナーシップを新たな段階に引き上げることにコミットしたことを踏まえ、日英協力の在り方を確認しました。

(2) 四大臣は、既存の国際秩序が挑戦を受ける中、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向け、両国が緊密に協力していくことで一致しました。

(3) 日本側から、「自由で開かれたインド太平洋戦略」に基づく取組を紹介しつつ、英国のインド太平

洋地域への更なる関与を歓迎しました。四大臣は、自由で開かれたインド太平洋地域の実現に向け、日英間の協力を具体化していくことで一致しました。

(1) 四大臣は、国際社会が直面する最も喫緊かつ重大な脅威である北朝鮮について、核武装した北朝鮮は決して受け入れられず、日英両国が連携して国際社会による圧力を最大限まで高めることを確認した。

(2) 四大臣は、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の重要性を確認し、緊張を高めるいかなる一方的行動や、力や強制による現状変更の試みに対しても反対することで一致しました。

(3) また、四大臣は、ロシア/ウクライナ情勢、中東和平を含む中東情勢等についても意見交換を行う。

(1) 四大臣は、両国の今後の協力の方向性を示すものとして、共同声明の発出及び中長期的な日英間の具体的な取組を記載した行動計画（非公表）の策定を歓迎しました。

(2) 四大臣は、自由で開かれたインド太平洋地域の実現に向け、海洋安全保障・海上安全及び途上国の能力構築支援における連携を強化していくことで一致しました。

(3) 四大臣は、共同訓練に関して、来年、HMS サザーランド及びHMS アーガイルが訪日する際に海上自衛隊との共同訓練を実施することと、**日英陸軍種間の共同訓練を実施することを確認しました。**

(4) 防衛装備品・技術協力に関して、四大臣は、「共同による新たな空対空ミサイル（JNAAM）」の実現可能性に係る研究の進捗を受けて次の同研究プロジェクトを早期に進めることへの期待を表明しました。

(5) 四大臣は、テロ対策及びサイバー分野において、明年1月に開催予定の第3回テロ対策協議及び同2月に開催予定の第4回サイバー協議等を通じ、両国の協力を更に強化していくことを確認しました。

(6) 四大臣は、宇宙分野についても意見交換を行い、この分野での日英協力の在り方に関する議論を深めていくことで一致しました。
(ここまで日英 2+2 回号要旨おわり)

以上のごとく両国は今後互いに緊密に連絡し会い、軍事的にも、経済的にもしっかりと絆で結ばれることになりました。将来英国は TPP にも加入する意向を示しており、貿易面でもさらに一段と深化してゆくでしょう。アメリカがトランプ大統領の奇抜な政策で世界の枠組みの中より抜け出そうとしている今、日英がその代りの役目を引き受けることになってゆくことでしょう。第二次大戦においては、資源のない3つの国が枢軸国を形成し、孤立を深め、その他の全世界を向こうに廻して、哀しい対立を繰り返し、徹底的な敗北を喫しました。

どこの国とも誰とでも、常に仲良く、和を保ち、穏やかな中にも、正しい方向にむかって世界をリードすることこそ、日本の外交の基本としてもらいたいものです。幸いにして安倍首相の積極的平和主義により、どこの国とも国交を開き、出来る限りの援助を申し出、常に相手の立場に立って物事を進めれば、大きく世界に貢献できることになるでしょう。日本人は覇者になるような民俗ではありませんが、天皇を中心に、自然主義的な共存共栄策を目指し、日本的な穏やかな民主主義のもと、全国民が足るを知った感謝の生活を送れる国になってほしいものです。ユーラシアの東と西の二つの国がしっかりと手を結び一步一步前に向かえば、それが世界の土台になるでしょう。今にも壊れそうなこの地球、日本と英国の伝統と歴史が、新しい地球時代を築く端緒となってゆくでしょう。

徳力啓三